

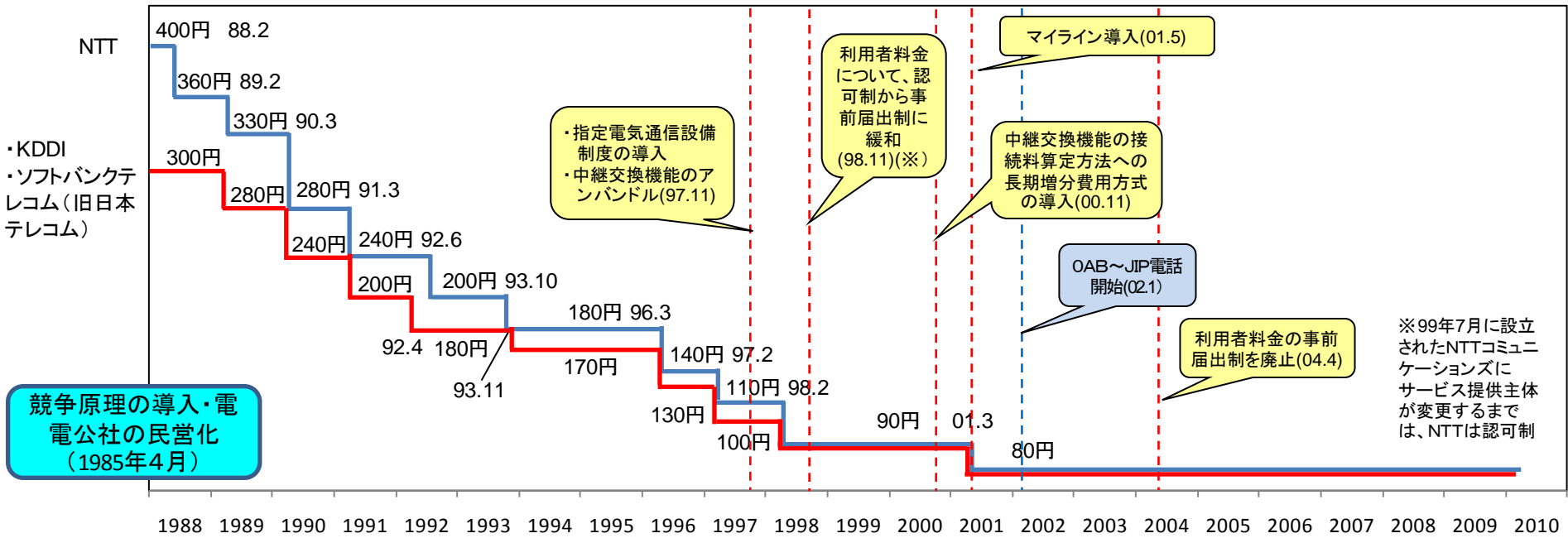
競争政策と通信料金の推移

2010年3月1日

加入電話の通話料の推移

通話料 (東京・大阪間の平日昼間3分間)

競争原理の導入(85.4)、指定電気通信設備制度(97.11)やマイライン導入(01.5)等により、長距離通話市場への新規参入・事業者間競争が実現し、料金が低廉化。

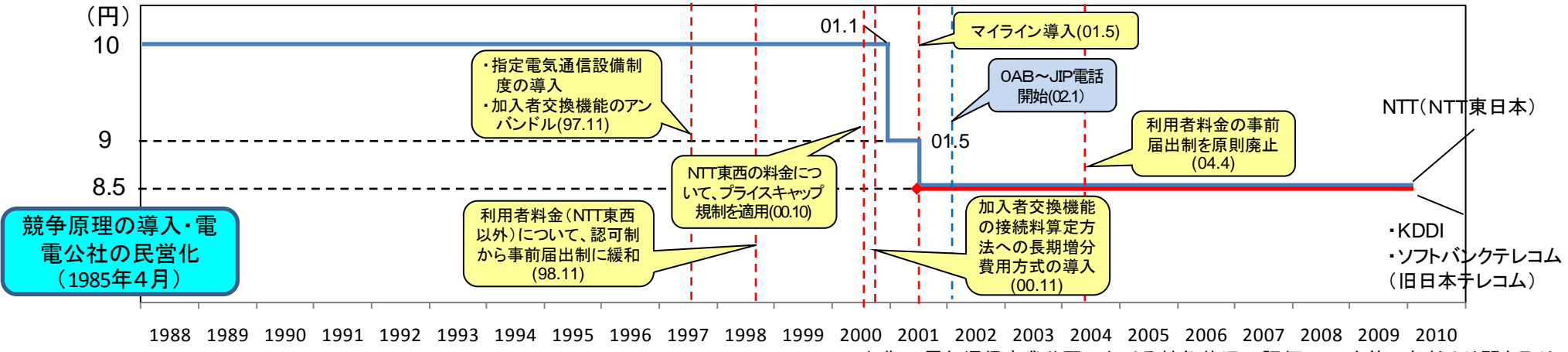


競争原理の導入・電
電会社の民営化
(1985年4月)

※99年7月に設立
されたNTTコミュニ
ケーションズに
サービス提供主体
が変更するまで
は、NTTは認可制

通話料(市内の平日昼間3分間)

加入者交換機能のアンバンドル(97.11)やマイライン導入(01.5)等により、市内通話市場への新規参入・事業者間競争が実現し、料金が低廉化。また、NTTの料金についても、プライスカップ規制により、上昇を抑制。



競争原理の導入・電
電会社の民営化
(1985年4月)

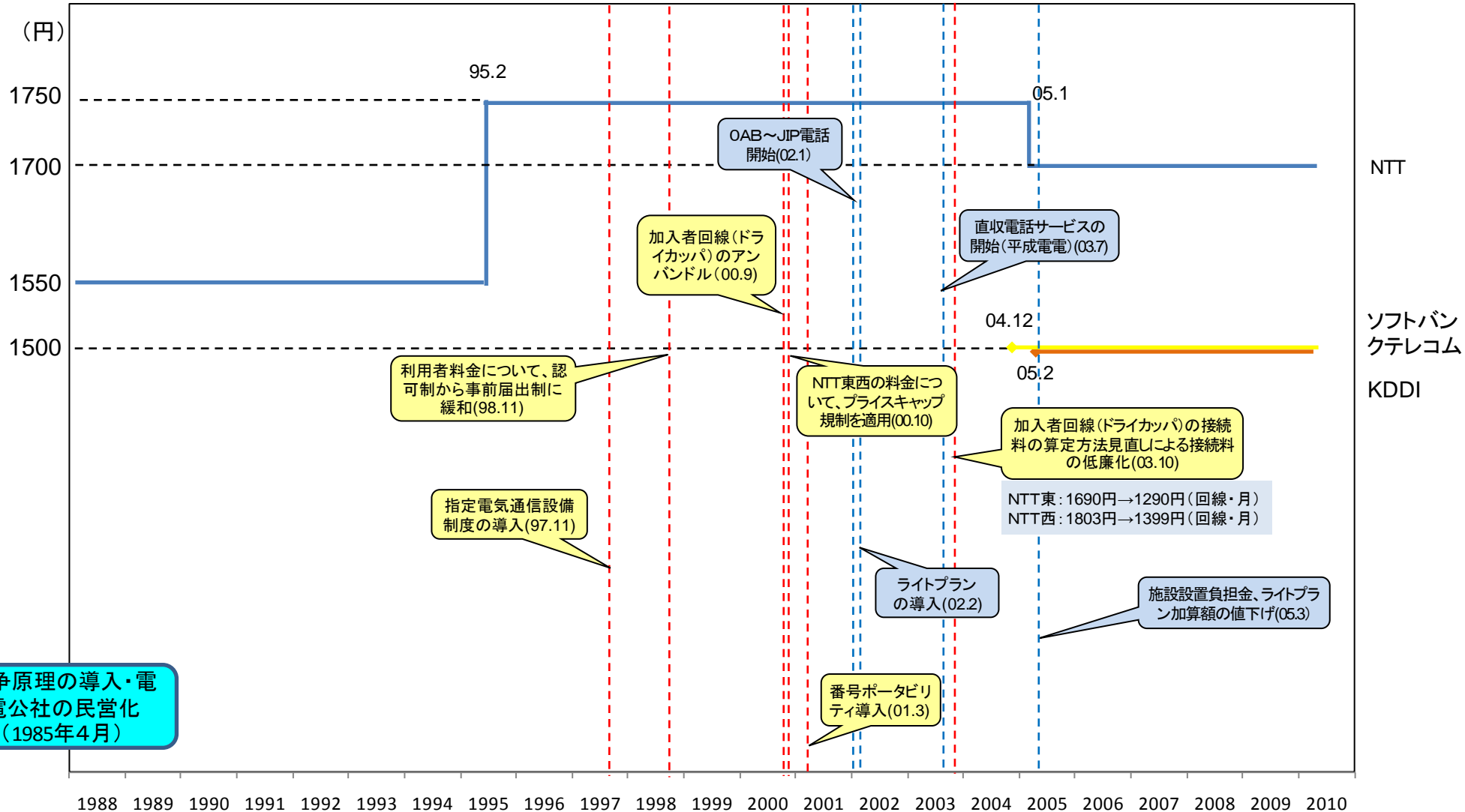
NTT(NTT東日本)

・KDDI
・ソフトバンクテレコム
(旧日本テレコム)

加入電話の基本料の推移

基本料

加入者回線のアンバンドル(00.9)や接続料の低廉化(施設設置負担金関係費用の見直し)(03.10)等により、基本料(直収電話)市場への新規参入・事業者間競争が実現し、料金が低廉化。また、NTTの料金についても、プライスカップ規制により、上昇を抑制。



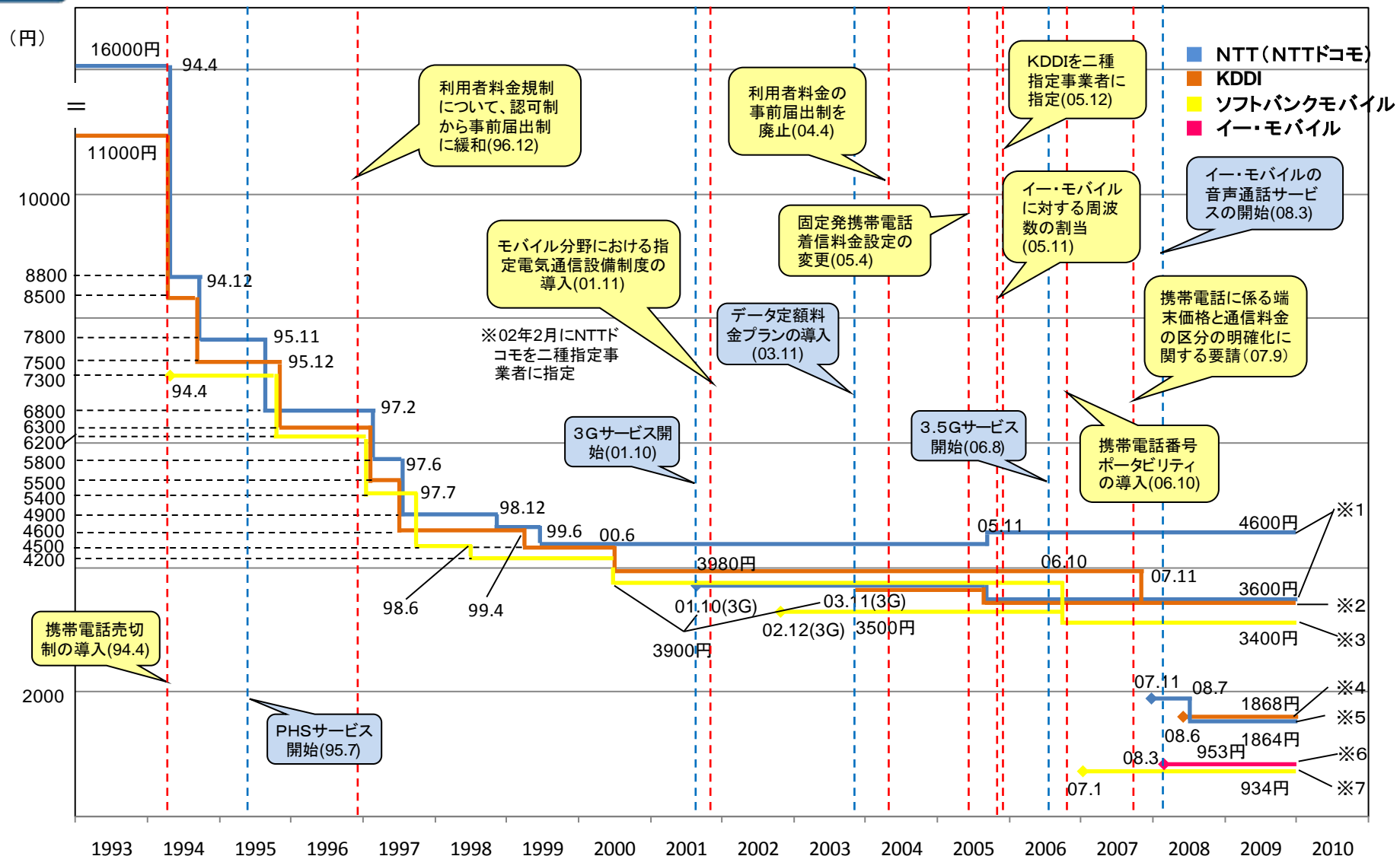
※ 都市部等最も高い「3級局」の基本料(住宅用)(税抜き)

※ 電気通信事業分野における競争状況の評価2008を基に作成

携帯電話基本料の推移

基本料

携帯電話売切制導入(94.4)、料金認可制の廃止(96.12)、番号ポータビリティ導入(06.10)、端末価格と通信料金の区分の明確化要請(07.9)、東京デジタルホン(94.4)、イー・モバイル(08.3)の新規参入等により、競争が促進され、料金が低廉化。

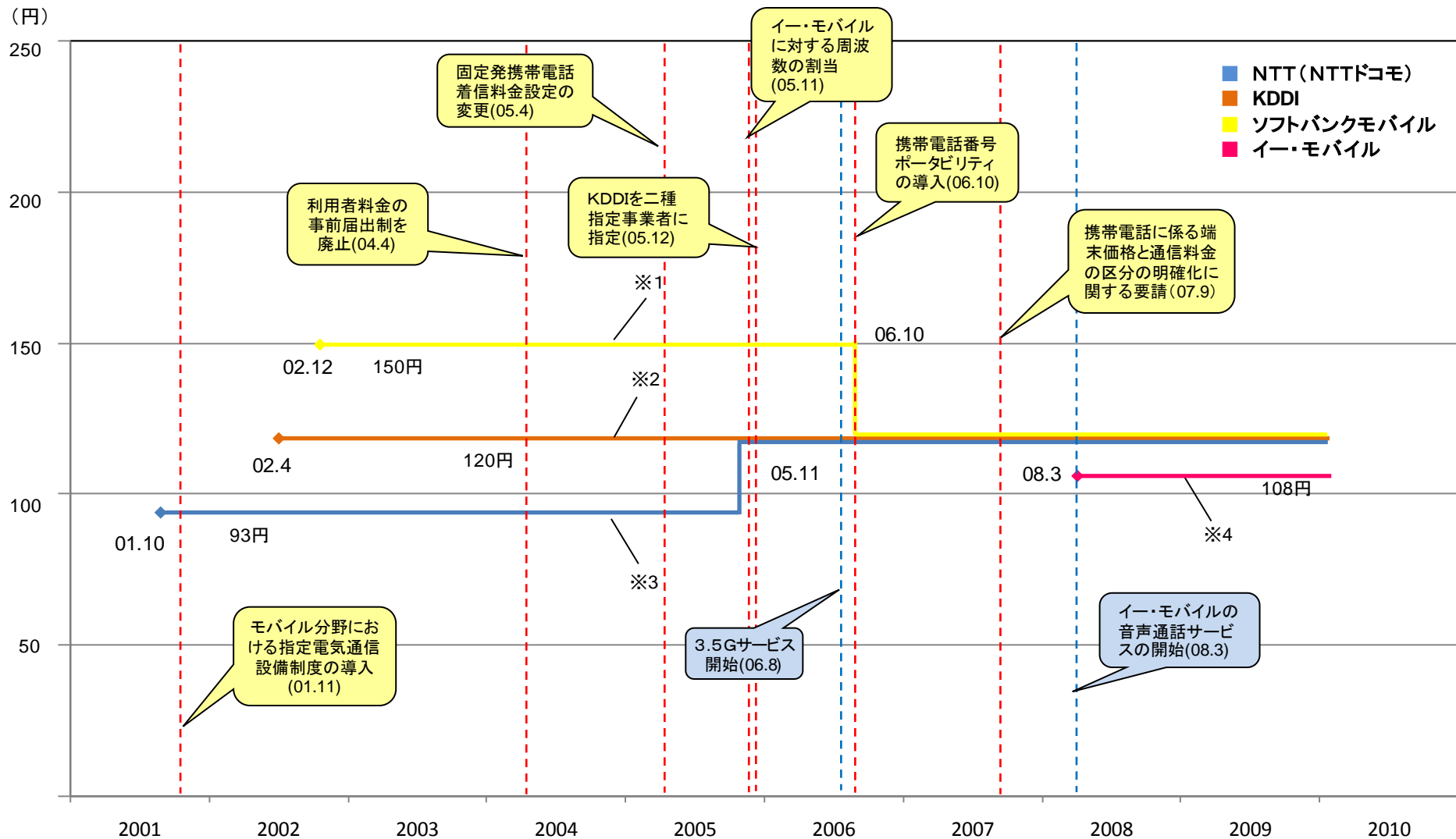


※1 1994年3月まではムーバ、1994年4月からプランA、2005年11月からタイプSの料金。3Gは、2001年10月からFOMAプラン39、2005年11月からタイプSS。各種割引適用前。
 ※2 1994年11月まではアナログの標準プラン、1994年12月からPDC標準プラン、1999年4月からコミコミoneエコノミー、2007年11月からプランSS。3Gは、2002年4月にコミコミoneエコノミー(3980円)でサービスを開始、2003年11月からプランSS(3Gの専用プラン)。各種割引適用前。
 ※3 1994年4月からスタンダードプラン、1998年6月からトークバックライト。3Gは2002年12月から「ライトコールパック」、2006年10月からオレンジプランSSプラン。各種割引適用前。
 ※4 プランSSシンプル。なお、本プランは「誰でも割」等の適用により、基本料が50%割引。 ※5 タイプSS バリュー。なお、本プランは「ひとりでも割50」等の適用により、基本料が50%割引。
 ※6 ケータイプラン。 ※7 ホワイトプラン。
 出典：電気通信事業分野における競争状況の評価2008を基に各社より聞き取り

携帯電話通話料の推移(3G)

通話料(平日・昼間・対市内加入電話3分間)

料金の事前届出制の廃止(04.4)、番号ポータビリティ導入(06.10)等により、事業者間競争が促進され、料金が低廉化。

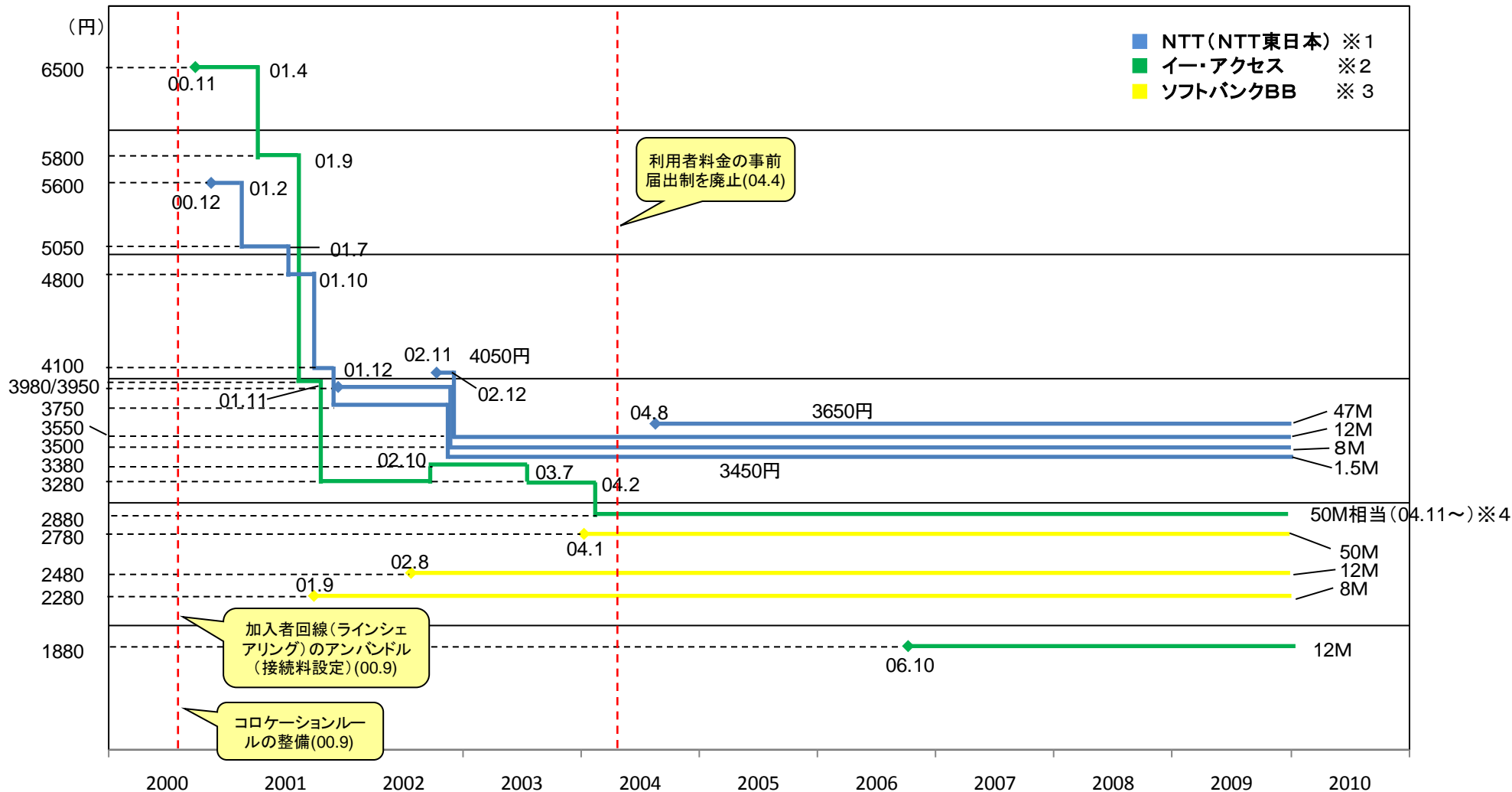


※1 2002年12月から「ライトコールパック」、2006年10月から「オレンジプラン(W)SSプラン」、2007年1月からホワイトプランの料金。各種割引適用前。
 ※2 2002年4月から「コミコミOneエコミー」、2003年11月から「プランSS」の料金。各種割引適用前。
 ※3 2001年10月から「FOMAプラン39」、2005年11月から「タイプSS」の料金。各種割引適用前。
 ※4 2008年3月から「ケータイプラン」の料金。各種割引適用前。

ADSL利用料金の推移

ADSL

加入者回線のアンバンドル(00.9)、コロケーションルールの整備(00.9)等により、ADSL市場への新規参入・事業者間競争が実現し、料金が低廉化。



※1 電話共用型の料金。ISP料金(ふらら)を含む。加入電話月額基本料、ADSLモデムレンタル料、屋内配線使用料は含まない。ただし、2000年12月～の1.5Mの料金については、機器利用料及び屋内配線利用料を含んだ料金体系。各種割引適用前。

※2 電話共用型の料金。ISP料金(ニフティ)を含む。NTT東西加入電話月額基本料、ADSLモデムレンタル料、NTT・ADSL回線使用料は含まない。各種割引適用前。

※3 電話共用型の料金。ISP料金を含む。NTT東西加入電話月額基本料、ADSLモデムレンタル料、NTT・ADSL回線使用料は含まない。各種割引適用前。

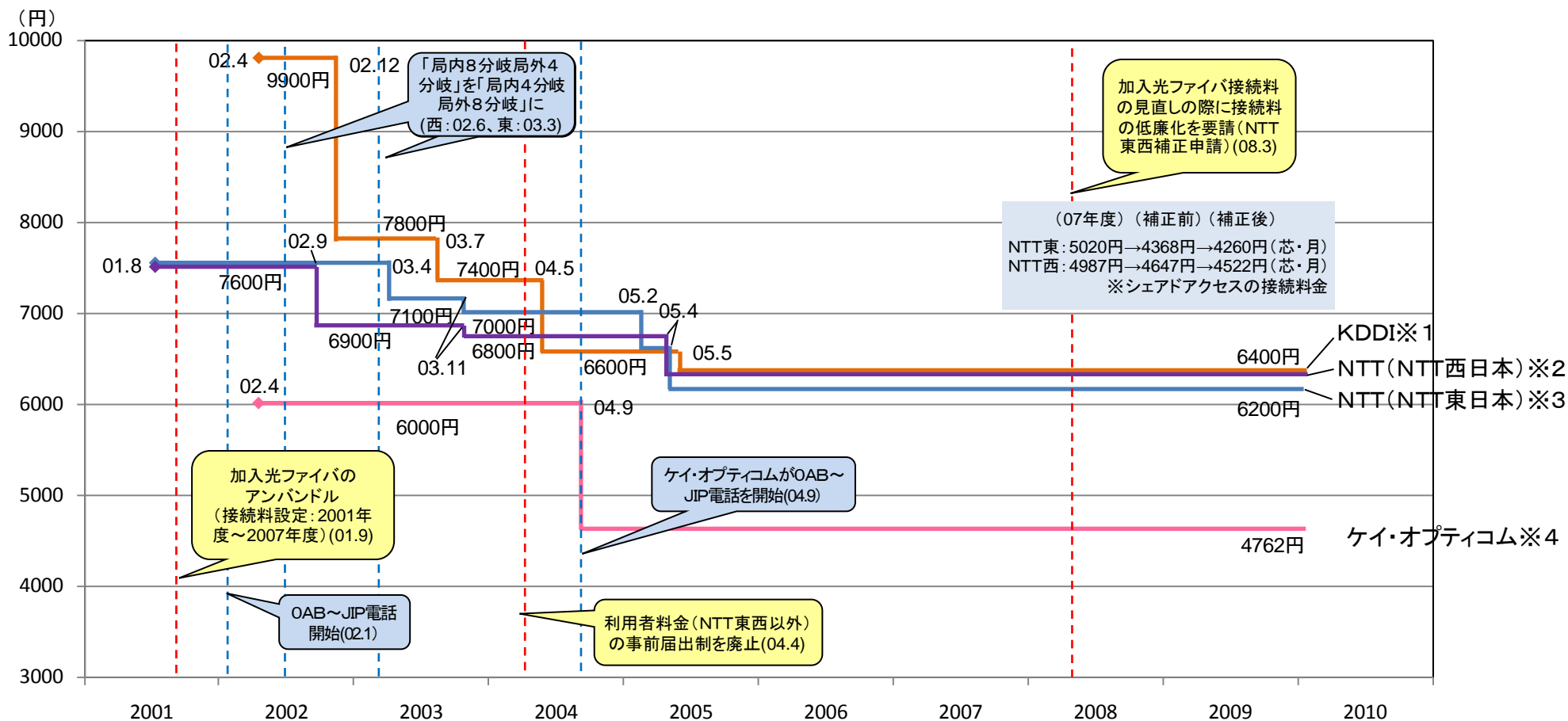
※4 通信速度は、00.11から0.6M/01.2から1.5M/01.11から8M相当/02.10から12M相当/04.2から47M相当/04.11から50M相当。

出典：電気通信事業分野における競争状況の評価2008を基に各社より聞き取り

FTTH利用料金の推移

FTTH料金(戸建て向け)

加入光ファイバのアンバンドル(01.9)により、FTTH市場への新規参入・事業者間競争が実現し、料金が低廉化。



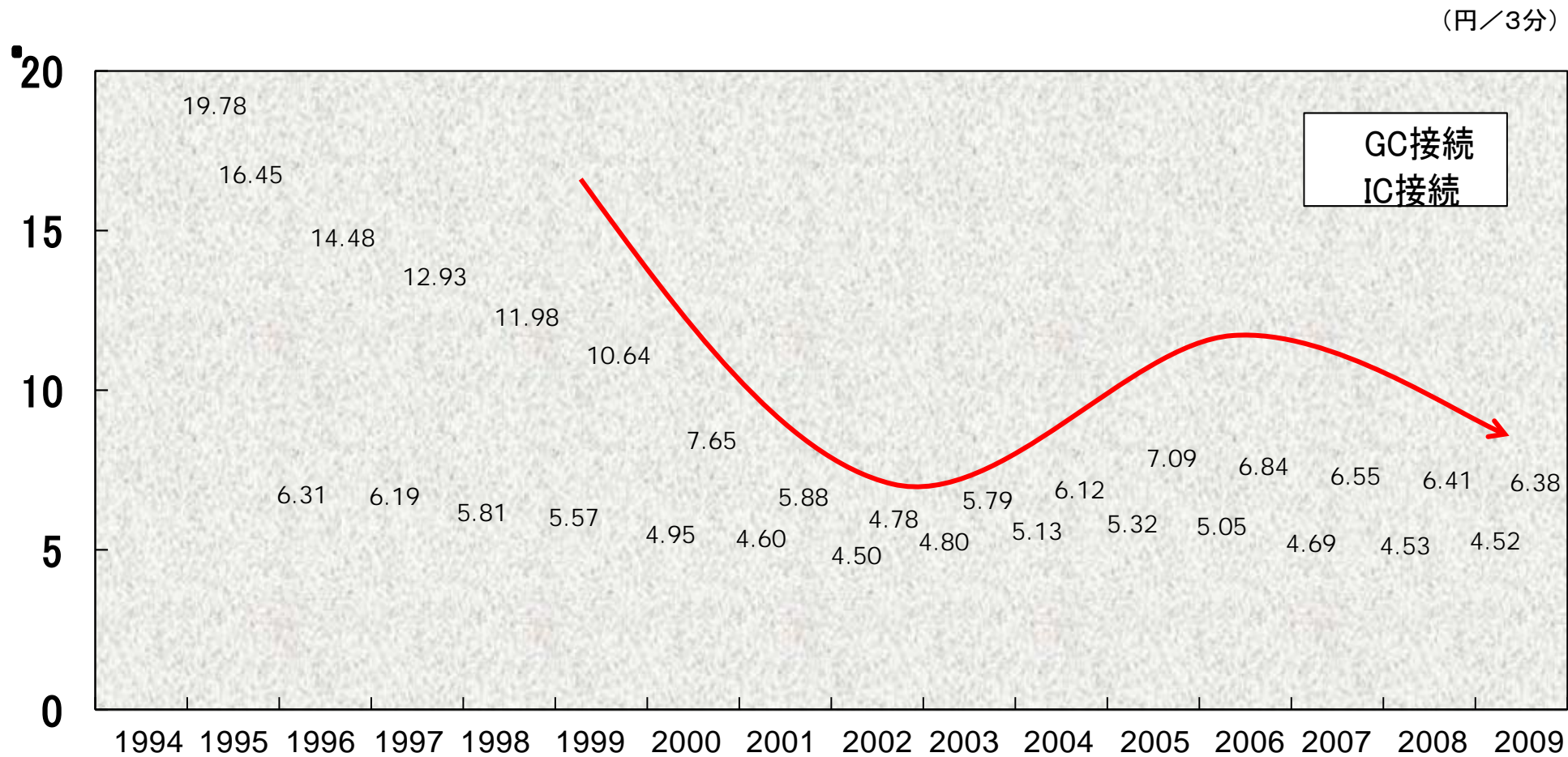
※1 ISP料金(ニフティ)、端末設備使用料、モデム使用料を含む。2006年12月までは東京電力のTEPCOひかり・ホームタイプ、2007年1月からKDDIのひかりoneの料金。各種割引適用前。

※2 ISP料金(ぶらら)、屋内配線利用料、回線終端装置利用料を含む。2001年8月からBフレッツ・ファミリータイプ、2002年9月からBフレッツ・ファミリー100タイプ、2005年3月からフレッツ・光プレミアムファミリータイプの料金。各種割引適用前。

※3 ISP料金(ぶらら)、屋内配線利用料、回線終端装置利用料を含む。2001年8月からBフレッツ・ファミリータイプ、2003年4月からBフレッツ・ニューファミリータイプ、2004年11月からはBフレッツ・ハイパーファミリータイプの料金。各種割引適用前。

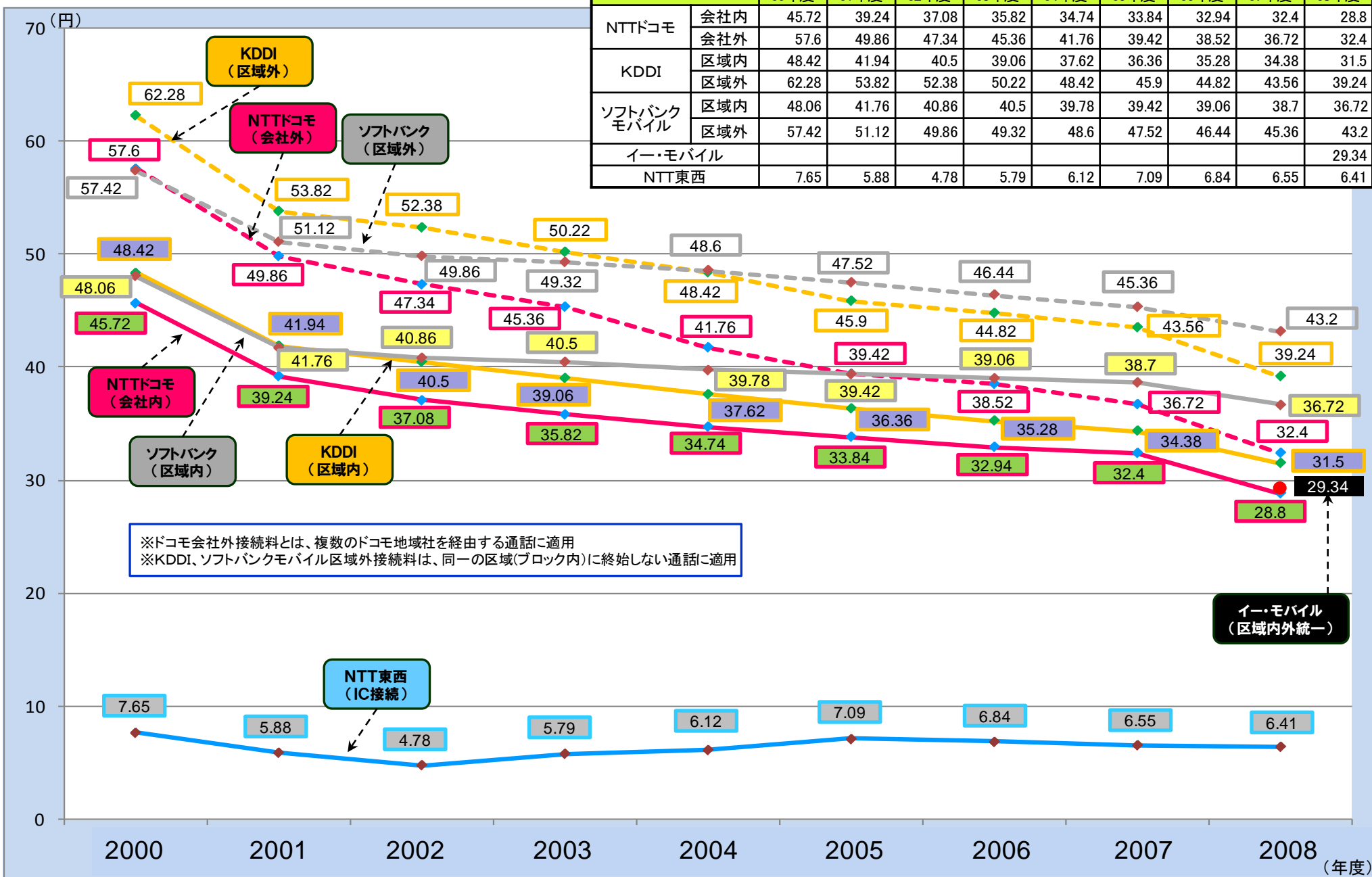
※4 ISP料金(ケイ・オプティコム)、回線終端装置使用料を含む。eo光ネット【ホームタイプ】100Mコース(2005年7月eoホームファイバーから改称)の料金。各種割引適用前。

(参考)固定電話接続料(3分間)の推移



(参考)携帯電話接続料(3分間)の推移

		00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
NTTドコモ	会社内	45.72	39.24	37.08	35.82	34.74	33.84	32.94	32.4	28.8
	会社外	57.6	49.86	47.34	45.36	41.76	39.42	38.52	36.72	32.4
KDDI	区域内	48.42	41.94	40.5	39.06	37.62	36.36	35.28	34.38	31.5
	区域外	62.28	53.82	52.38	50.22	48.42	45.9	44.82	43.56	39.24
ソフトバンク モバイル	区域内	48.06	41.76	40.86	40.5	39.78	39.42	39.06	38.7	36.72
	区域外	57.42	51.12	49.86	49.32	48.6	47.52	46.44	45.36	43.2
イー・モバイル										29.34
NTT東西		7.65	5.88	4.78	5.79	6.12	7.09	6.84	6.55	6.41



イー・モバイル
(区域内外統一)

NTT東西
(IC接続)

※ドコモ会社外接続料とは、複数のドコモ地域社を經由する通話に適用
 ※KDDI、ソフトバンクモバイル区域外接続料は、同一の区域(ブロック内)に終始しない通話に適用